

令和5年度高等学校教科等教育課程研究協議会【情報部会】
研究協議③発表 京都府

京都すばる高等学校 情報科学科 (専門教科「情報科」を学ぶ専門学科)

『専門学校と高等学校の
有機的連携プログラムの開発・実証』

京都府教育庁指導部高校教育課



京都すばる高等学校について

昭和60(1985)年

府立商業高等学校

「商業科」

平成15(2003)年

府立京都すばる高等学校

「商業科」 + 「情報科」



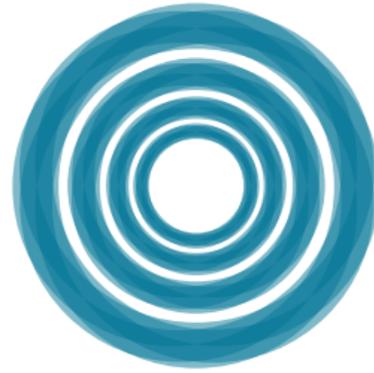
起業創造科

Entre & Creative Field

じもと×しごと

起業家精神で地域社会をデザインする
起業創造科は「マネジメント」と「会計」に関する分野の知識と技術を習得し、地域課題の解決を通して主体性や創造力を養います。さらに大学や企業と連携して、ビジネスの視点から地域社会に貢献できるアントレプレナーシップ（起業家精神）を身につける商業に関する専門学科です。

起業ってかっこよくない？



企画科

Planning Field

せかい×しごと

企画力で京都と世界をつなぐ

企画科はマーケティングとビジネス情報に関する分野の知識と技術を習得し、商品開発やマルチメディア作品の制作を通して企画力と表現力を養います。さらに京都の観光ビジネスを題材として、グローバル化を続ける経済社会に貢献できるコミュニケーション力を身につける商業に関する専門学科です。

企画って楽しくない？



情報科学科

Intelligent Field

せいぎ×しごと

ICTで社会の発展を加速する

情報科学科は、高度情報通信社会の中で合理的に課題を解決できる論理的・数理的な思考力を養うとともに、情報技術に関する分野の知識と技術を習得し、社会の発展に主体的に寄与できる能力と態度を身につける情報に関する専門学科です。

情報って新しくない？

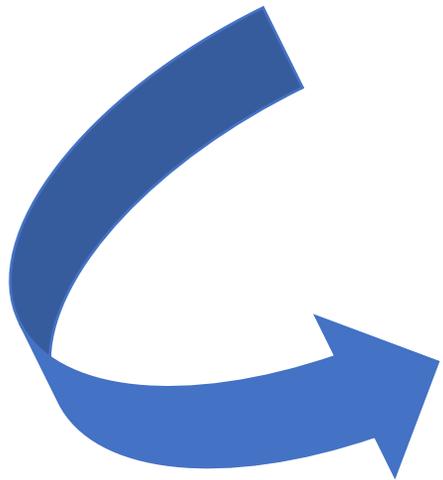
連携事業について



- ・ プログラミング能力の向上
- ・ 心の教育 (情報モラル／情報セキュリティ)
- ・ 資格取得 ⇒ 「IT人材の育成」を目指す！

連携事業について～事業の経緯～

課題：進学先（大学や専門学校）において
京都すばる高校での履修内容が重複する
⇒ 学びが効果的に連携できていない



「専門学校・高等学校連携による
中核的IT専門職人材の加速型育成
プログラムの開発・実証」

連携事業について～事業目的～



kcg.edu 京都コンピュータ学院

入
学

5年間で「IT中核人材」を育成

卒
業

共同で一貫カリキュラムを開発・実施することで情報技術分野の教育を加速させる。

高等学校3年間の学び＝専門学校の学び



インターシップ・より高度な知識修得

産官学連携コンソーシアム（KCG, 京都すばる高校, 京都府教育委員会, 日本ユニシス, 京情協で構成する）
 ・IT業界の現状と最新の動向を伝えることで、勉学に対するモチベーションを維持向上させる
 （ITに関する先進の技術動向に関する講演会や企業の活躍する現校のIT技術者との懇談会など）
 ・現在と将来を見据え、社会で求められる人材の提言
 ・プログラムの進捗状況の管理 など

連携事業について～事業計画①～

令和
3年度

●次年度実施に向けての準備

- ・コンソーシアムの立ち上げ
- ・コーディネータの選出
- ・両校カリキュラム調査、開発
- ・連携事業に関する
ホームページの開設
- ・中学生向けフライヤーの配布
- ・YouTube広告配信

令和
4年度

●本事業の1期生入学

- ・高専一貫カリキュラム開講
開始
- ・KCG教員の本校授業参加
- ・長期休暇中の資格対策講座
- ・資格取得のための
学習動画作成
- ・SDGs ワークショップ
- ・ハイフレックス授業の実施

令和
5年度

●本事業の2期生入学

- ・資格取得に向けた模擬試験
アプリの開発
 - ・IT企業への見学会
 - ・就職に向けた業界、企業、
仕事の研究および自己分析
 - ・ハッカソンやアイデアソン
への参加
- ※令和4年度と同業務を行う

これまでの主な取組①



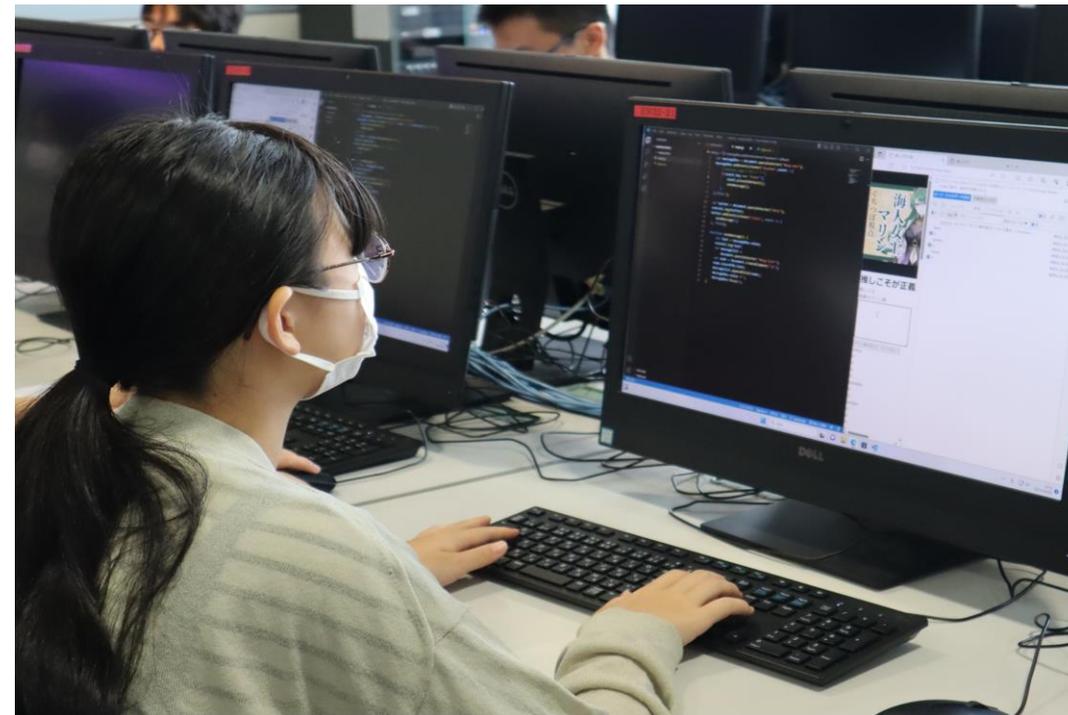
京都コンピュータ学院教員の授業参加
プログラミング実習Ⅱ（2年生）

これまでの主な取組②



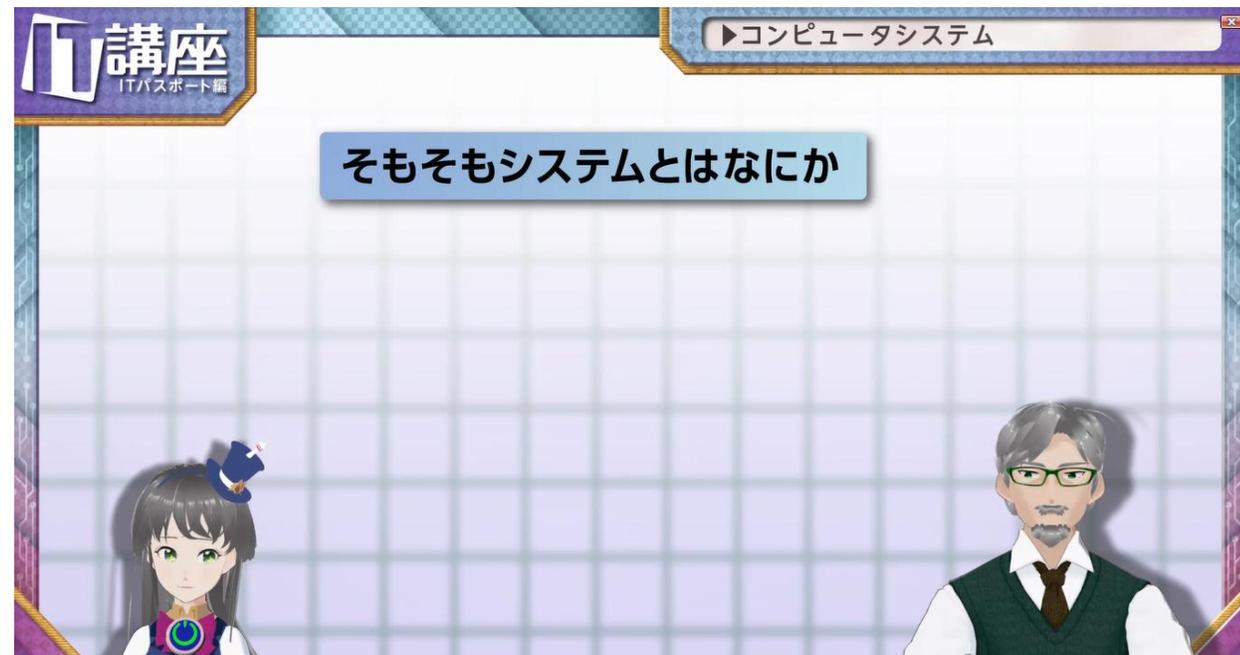
SDGs ワークショップ & ハイフレックス授業
令和4年12月27日実施

これまでの主な取組③



長期休業中の資格取得対策講座
令和5年8月7・8日実施

これまでの主な取組④



資格取得対策の動画教材の作成
例) コンピュータシステム編

これまでの主な取組⑤

kcg.edu
Kyoto Computer Gakuin

成績情報詳細 京都コンピュータ学院：S23001

問12 クラウドファンディングは、資金提供の形態や対価の受領の仕方の違いによって、貸付型、寄付型、購入型、投資型などの種類に分けられる。A社は新規事業の資金調達を行うために、クラウドファンディングを通じて資金提供者と匿名組合契約を締結し、利益の一部を配当金として資金提供者に支払うことにした。A社が利用したクラウドファンディングの種類として、最も適切なものはどれか。

ア 貸付型クラウドファンディング イ 寄付型クラウドファンディング
ウ 購入型クラウドファンディング エ 投資型クラウドファンディング

出典：令和4年度分 ストラテジ系 問12

ア イ ウ エ 正解：エ

資格取得に向けた模擬試験アプリの開発

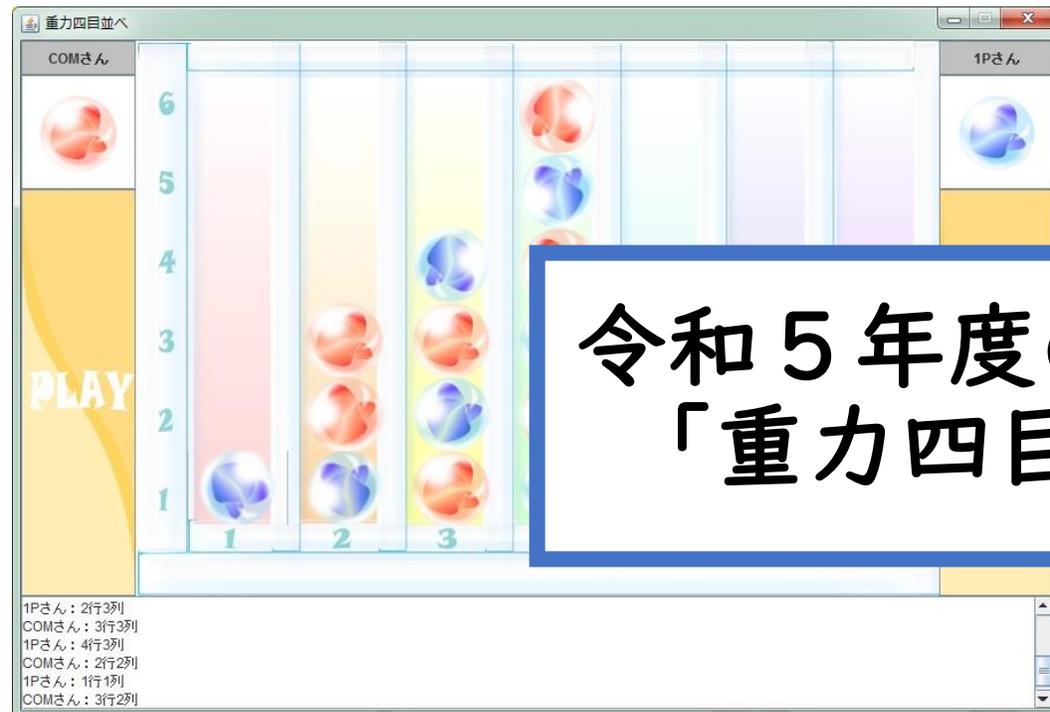
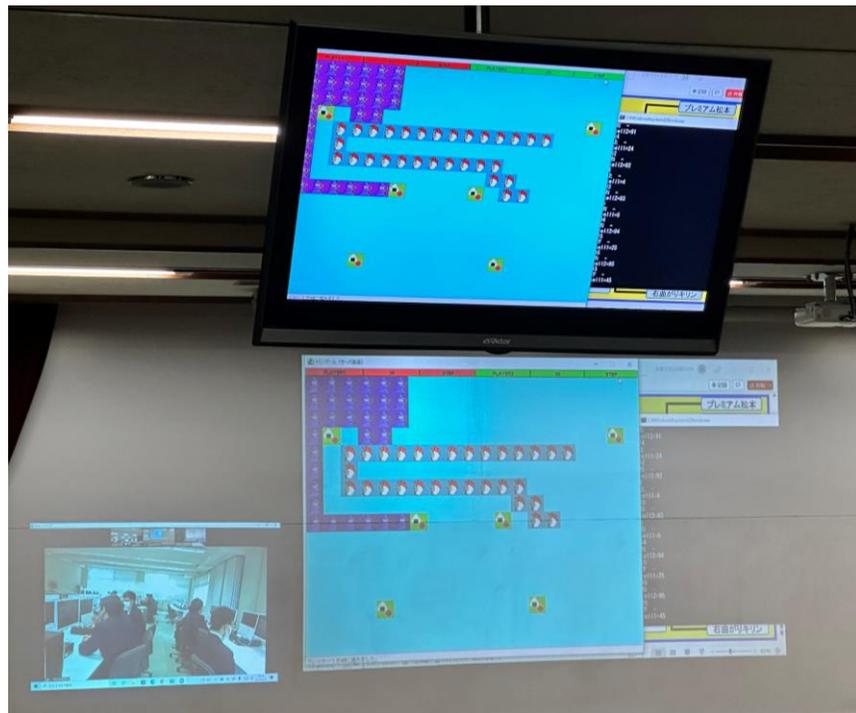
これまでの主な取組⑥



IT企業への見学会「富岳」見学
令和5年8月9日実施

今後に向けて

「プログラミング実習Ⅱ」において
「AIプログラミング競技会」 を実施予定



令和5年度のテーマ
 「重力四目並べ」

連携事業について～事業計画②～

令和
6年度

●本事業の3期生入学

- ・ 1期生は高校卒業年度
- ・ KCGで開講予定科目の準備
- ・ 高校3年生1学期で進路決定

※令和4年度と同業務を行う

令和
7年度

●本事業の4期生入学

- ・ 1期生はKCGへ入学【KCGにおいて】
 - ・ 上級生科目を含めた授業の履修開始
 - ・ 授業内で各種コンテストに向けた作品制作を開始
 - ・ 就職に向けての対策の実施
 - ・ インターンシップへの参加
- ※令和4年度と同業務を行う

令和
8年度

●本事業の5期生入学

- ・ 1期生はKCG卒業年度
- ・ AI、機械学習、データサイエンスの授業を受講開始
- ・ 各種コンテストへの応募
- ・ 本事業の成果報告書の作成

※令和4年度と同業務を行う

ご清聴ありがとうございました。

令和5年度高等学校教科等教育課程研究協議会【情報部会】研究協議③発表

京都すばる高等学校 情報科学科（専門教科「情報科」を学ぶ専門学科）
『専門学校と高等学校の有機的連携プログラムの開発・実証』

京都府教育庁指導部高校教育課

